

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和3年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理		2	1		3
2 生産工学		1	1	2	4
3 水稻		3	4		7
4 畑作物					0
5 特産作物		2			2
6 果樹		2	1		3
7 野菜		4		2	6
8 花き	1	1	1		3
9 土壌作物栄養		2			2
10 病虫害制御		3		1	4
11 乳用牛				1	1
12 肉用牛	1		4	4	9
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物	2			1	3
15 畜産環境					0
[計]	4	21	12	11	48

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和3年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
花き	R3-普-01	鉢花向け濃桃色りんどう品種「Bzc-1 mut1」の育成	花き
草地・飼料作物	R3-普-02	乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ極早生品種「P8025」、「ゴールドデントKD085ベローナ」	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	R3-普-03	乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ早生品種「パイオニア108日(34N84)」、「パイオニア110日(P1204)」	家畜飼養・飼料
肉用牛	R3-普-04	黒毛和種県産種雄牛「百合雲(ゆりぐも)」、「結乃宝(ゆいのたから)」、「暁雲(あきぐも)」の作出	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稻	R3-指-01	1ha規模大区画水田における自己拡散型浮遊粒除草剤の畦畔1辺処理による省力効果	水田利用
水稻	R3-指-02	「銀河のしずく」の鉄コーティング湛水直播栽培可能地域	生産システム
水稻	R3-指-03	令和3年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
土壌作物栄養	R3-指-04	県内水田土壌35年間の施肥管理と化学性の変化(追補)	土壌肥料
生産工学	R3-指-05	傾斜地ほ場におけるオルソモザイク画像の撮影技術	生産システム
土壌作物栄養	R3-指-06	小麦栽培における緑肥作物の導入効果	土壌肥料
病虫害制御	R3-指-07	大豆種子生産における耐性菌発生リスクを考慮した紫斑病防除体系	病理昆虫
特産作物	R3-指-08	ポット苗田植機に適した雑穀の育苗法	作物
特産作物	R3-指-09	たまねぎ全自動移植機を用いた雑穀の機械移植技術	作物
果樹	R3-指-10	岩手県における「シャインマスカット」の成熟に要する積算温度及び収量の影響	果樹
果樹	R3-指-11	令和3年4月の凍霜害におけるりんごの被害実態	果樹
病虫害制御	R3-指-12	りんご土着カブリダニ保護体系における摘果剤、有機リン剤の影響と主要害虫防除効果	病理昆虫
農業構造・経営管理	R3-指-13	水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目－確認・指導すべき項目のチェックリスト－	農業経営
農業構造・経営管理	R3-指-14	大規模露地野菜作のスマート農業技術体系データ	農業経営
野菜	R3-指-15	春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の日焼け球の発生	野菜
野菜	R3-指-16	春まきたまねぎ栽培における地干し乾燥時の収穫開始の目安	野菜
病虫害制御	R3-指-17	ナス果実小陥没症の発生抑制対策	病理昆虫
野菜	R3-指-18	キャベツ10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性	園芸

分野	成果番号	成果名	担当研究室
野菜	R3-指-19	キャベツ10月どり作型における「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件	園芸
花き	R3-指-20	栄養系鉢花りんどう「Bzc-1」における挿し穂冷蔵法	花き
中小家畜	R3-指-21	母系素材鶏を改良した南部かしわの発育モデル	家畜育種

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	R3-行-01	農林業センサ分析支援シート	農業経営
水稻	R3-行-02	令和3年度における水稻奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果	水田利用
生産工学	R3-行-03	既設暗渠を活用した地下かんがいシステムの特徴	水田利用
水稻	R3-行-04	岩手県的水稻主要4品種における移植栽培可能地域の算定	生産システム
水稻	R3-行-05	令和4年度水稻奨励品種決定調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統	作物育種
水稻	R3-行-06	令和4年度水稻奨励品種決定予備調査に新たに供試する「岩手147号」、「岩手148号」、「岩手149号」、「岩手150号」	作物育種
果樹	R3-行-07	りんご育成系統「岩手19号」、「岩手20号」の果実特性	果樹
花き	R3-行-08	令和3年度りんどう奨励品種決定試験・現地試験結果	花き
肉用牛	R3-行-09	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R3-行-10	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R3-行-11	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R3-行-12	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
生産工学	R3-研-01	無人航空機(ドローン)で撮影した可視光画像から得られた植生指数(VARI値)による水稻栄養診断の可能性	生産システム
生産工学	R3-研-02	低コストRTK-GNSSデータロガーの特徴	生産システム
病虫害制御	R3-研-03	県内りんごほ場におけるDMI剤耐性リンゴ黒星病菌の分布状況	病理昆虫
野菜	R3-研-04	60~100坪のパイプハウスに適した小型炭酸ガス発生機の主な仕様と性能評価	野菜
野菜	R3-研-05	雨よけほうれんそう栽培におけるミスト加湿の効果	野菜
肉用牛	R3-研-06	日本短角種における牛肉中のイノシン酸濃度に関連する遺伝子頻度と遺伝率及びイノシン酸濃度を考慮した選抜指数式の作成	家畜育種
肉用牛	R3-研-07	黒毛和種における分娩前後の栄養水準の違いが子宮環境回復、繁殖成績および子牛の発育に及ぼす影響(第2報)	家畜育種

分野	成果番号	成果名	担当研究室
草地・飼料 作物	R3-研-08	オーチャードグラス経年草地における刈取り管理が栄養収量に与える影響	家畜飼養・飼料
乳牛用	R3-研-09	乾乳期間の長短が乳牛の産乳・繁殖成績に及ぼす影響	家畜飼養・飼料
肉用牛	R3-研-10	種雄牛における乗駕行動時の加速度の特徴及び乗駕行動発見指標	外山畜産
肉用牛	R3-研-11	Bluetooth Low Energy(BLE)の受信信号強度を用いた日本短角種自然交配牛群における発情時期の推定	外山畜産

2 追跡評価

○令和3年度追跡評価の実施結果

(1) 評価対象

平成30年度公表の普及区分5成果及び指導区分37成果

(2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者
内部	共通	各部・所
外部	普及	生産者・JA、普及センター
	指導	普及センター

(3) 評価結果

ア 内部評価

平成30年度に公表した42成果の評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H20～29 平均
普及	A	10	9	14	8	9	10	10	6	8	6	5	8.6
	B	5	2	1	1		2	1					2.0
	C	1		1			1						1.0
	D												
指導	A	47	31	33	26	21	35	32	18	36	41	37	32.5
	B	1	2	1	2		1	1	1				1.3
	C	3	2	1									2.0
	D												

A: 現在でも有効

B: 既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C: 後年度の成果に反映

D: 無効(Bに含まれないもの)□

イ 外部評価

(ア) 成果区分「普及」

a 生産者・JA評価

- ① 活用状況は、「現在も活用している」が100%
- ② 満足度は、「満足」が36.4%、「おおむね満足」が63.6%

b 普及センター評価

- ① 経営体での活用は、「よく活用されている・活用されている」が73.3%、「あまり活用されていない・活用されていない」が26.7%
- ② 活用されていない理由として、成果の対象である品種の作付が少ないとの回答があった。

(イ) 成果区分「指導」

a 普及センター評価

- ① 指導上の参考は、「大いに参考になった・参考になった」が87.3%、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が12.7%
- ② 指導効果は、「大いに得られた・得られた」が53.6%、「あまり得られなかった・得られなかった」が46.4%
- ③ 指導効果が得られなかった理由として、成果の内容が現地の実情に合わないため、活用場面がなかったとの回答が多かった。

表 追跡評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者・JA	69%	成果の活用	活用している	100%
				活用していない	0%
			成果の満足度	満足	36.4%
				概ね満足	63.6%
	普及セ	100%	経営体での活用	満足できない	0%
				よく活用されている	40.0%
活用されている	33.3%				
あまり活用されていない	13.3%				
指導	普及セ	100%	指導上の参考	活用されていない	13.3%
				大いに参考になった	32.7%
				参考になった	54.5%
				あまり参考にならなかった	12.7%
			指導効果	参考にならなかった	0%
				大いに得られた	20.9%
得られた	32.7%				
あまり得られなかった	31.8%				
得られなかった	14.5%				

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	野菜花き	計
研究成果数	1	1

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
野菜花き	一重咲き鉢花向け赤紫色リンドウ新品種「Bzc-1 mut1(仮称)」の育成	研究	花き

